

6月17日、本市の災害用備蓄品等の整備状況を把握するため、文化の杜交流館コモッセ、八幡平市民センター、市役所本庁舎防災倉庫の3力所の状況を調査しました。



市役所本庁舎防災倉庫

まず、備蓄品等の整備についてですが、県が定める地域防災計画に基づく市町村別備蓄数の目標は、北由利断層の想定地震をモデルに、最大被災者数をおよそ14万人と想定し設定されています。県と市町村でこの約7割に相当する9万7千人を公的備蓄目標数量として、それぞれ半数の備蓄目標を掲げており、市町村については人口比による分担としてお

りますが、本市における県の目標に対する整備率は、全ての項目で100%を超えており、大きな災害の発生に備え、備蓄品等は充足していることが確認できました。

なお、公的備蓄以外に残り3割については、日本赤十字社の支援や事業者等との協定や個人備蓄を想定しているとのことであり、いつ発生するかわからない災害に対し、市民の方からも日頃から防災意識を持っていただくことが重要であると改めて感じました。

(派遣委員)

児玉悦朗、田村富男、倉岡誠
兎澤祐一、安保誠一郎



文化の杜交流館・コモッセ

6月17日、花輪駅前整備事業の第一弾となる鹿角花輪駅前観光案内所(6月21日オープン)の施設について調査しました。



鹿角花輪駅前観光案内所

まちの案内人が常駐し、観光案内や観光情報を提供するほか、特産品の紹介とあわせた売店営業やバス乗車券の販売、レンタサイクルの貸し出しを行うこととしており、休憩所、授乳室、多目的トイレなど、多様な方が利用できるよう整備されています。

本市の玄関口である花輪駅前広場は、鉄道やバスなどの公共交通拠点として車両交通に

おける交通結節機能の有するほか、花輪ばやしなどの行事や観光案内機能を担っていることから、市議会としても、駅前に設置される当観光案内所が機能的に活用され、観光振興並びに地域活性化につながるよう期待するものであります。

(派遣委員)

栗山尚記、田中孝一、吉村アイ
浅石昌敏、中山一男、戸田芳孝

『ぎかいだより』に関する ご意見・ご質問をお寄せください！

市議会では、身近で市民の皆様が手に取りやすい広報紙を目指しています。読者の皆様の率直な感想やご意見・ご質問をお寄せください。

こちらへお寄せください
✉(メール) gikai@city.kazuno.lg.jp
☎(FAX) 0186-30-1133



編集後記

令和に入って初の定例会が5月31日に開会し、6月24日に閉会となりました。初日に、市長から行政報告と議案の説明を受けました。その行政報告のなかで、神奈川県川崎市の児童が被害に遭った痛ましい事件について触れております。多数の死傷者が出るなど悲しい事件です。登下校時の事件や事故防止については、官民一体となつて取り組むことの大切さを、改めて実感した次第です。

また、その後の一般質問では私を含めて9名の議員が登壇し、当局の考えを伺いました。新しい時代における本市のさらなる発展を目指し、市民の皆様と一緒に、魅力あるまちづくりを目指してまいりたいと思っております。

毎日、暑い日が続いておりますので、どうか、ご体調を崩されませんようご自愛ください。

(戸田)

議会広報委員会

委員長 金澤 大輔
副委員長 成田 哲男
委員 田中 孝一
戸田 芳孝